

令和5年度 上十三・十和田湖広域定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録

開催日時：令和5年1月30日(月) 14:00～15:20

開催場所：十和田市役所本館4階大会議室

出席委員：岡野昇三委員、小嶋泰彦委員、田中孝雄委員、菊地順三委員、竹内稔委員、熊野稔委員、松山隆志委員、前田博委員、古間木勝弘委員、櫻田一雅委員、佐々木一郎委員、木村雅行委員、一戸実委員、加賀精二委員、千葉功己委員 15名

(欠席：林光利委員、秋田美智子委員、岡山康広委員、斗澤恵子委員 4名)

1 開会

2 中心市長挨拶

(十和田市長挨拶)

今日は、皆さん大変お忙しい中、上十三・十和田湖広域定住自立圏の懇談会にご出席をいただき、本当にありがとうございます。

また、この度新たに当懇談会の委員をお引き受けいただきましたお二方に対して、心から御礼申し上げたいと思います。

さて、ご承知の通り当圏域では、人口減少や少子高齢化を始めとする、様々な課題を抱える中、当圏域の強みを活かしながら、より一層の発展を遂げるため、持続的で魅力ある地域づくりを目指した各種取組を進めております。

本年度は、令和5年度を初年度とする第3次共生ビジョンの策定に向け、PDCAサイクルの考え方にに基づき、構成市町村により、共生ビジョンの見直しを行ってまいりました。

本日の懇談会では、現行の共生ビジョンの取組状況や、第3次共生ビジョンの素案について、委員の皆様にご説明し、ご確認いただきますとともに、幅広い観点からそれぞれの立場で忌憚のないご意見を賜りたいと考えておりますので、どうかご協力のほどよろしくお願いいたします。

結びに、皆様の今後ますますのご活躍とご健勝を心から祈念申し上げまして簡単ではありますが開会の挨拶といたします。

今日はよろしく願いいたします。

3 委員紹介

(事務局)

※ 委員名簿に基づき委員を紹介。

(座長挨拶)

北里大学獣医学部学部長の岡野と申します。前任の上野から引き継ぎ、本懇談会の座長を務めさせていただきます。不慣れな所がありますがよろしくお願い申し上げます。

さて、皆様ご存知のことと思いますが、この定住自立圏構想は、人口減少が急速に進む地方圏において、安心して生活できる環境を考え、都市圏からの人の流れを創出できるような魅力ある圏域を作ることを中心に、中心市と関係町村が連携・協力し、各種取組を進め圏域全体の活性化を図るものでございます。

先ほど十和田市長からもありましたとおり、共生ビジョンの内容や取組について、今後どのようにしていくべきかという観点から委員の皆様の忌憚のないご意見をいただければと考えております。

皆様のご協力を何卒よろしくお願いいたします。

4 案件

案件(1) 上十三・十和田湖広域定住自立圏の取組

(事務局)

※ **資料1**「上十三・十和田湖広域定住自立圏の取組」に基づき、定住自立圏の概要について説明

【質疑・意見等】

特になし

案件(2) 共生ビジョン掲載事業の取組及び検討状況

(事務局)

※ **資料2**「共生ビジョン掲載事業の取組及び検討状況」に基づき、現行の事業からの変更点等を説明

【質疑・意見等】

(委員)

観光関係事業はコロナ前（令和元年度）の基準を上回るような目標を掲げていますが、一方で交通系の事業はコロナ時代（令和3年度）の基準を目標にしています。この2種類で目標値の考え方を変えたのはなぜでしょうか。

(事務局)

観光の分野は国の旅行支援事業などの取組で回復傾向にあると思います。そのため観光の部分は少し高めの指標というような設定をしています。一方、交通に関しましては、支援はあるが具体的に大きな回復までにはもう少しかかるのではないかと見込み、このような指標を設定しております。

(委員)

観光が増えると連動して二次交通などの利用者も増えるのではないのでしょうか。そうした点も含めて、考え方を統一するべきと思います。また、空港関係を見ると令和元年度の数値を目標にしていますが、当時より便が増えています。この状況で令和元年度と同じ水準を達成するためには、よほど頑張らないといけな

い。これを踏まえた上で、他の連携事業との連動により達成できると見込んでの目標設定という解釈でよいですか。

(事務局)

令和元年度の数値はコロナ禍前の搭乗率の中で最高値です。この最高値を参考に目標値として今回設定いたしました。

(座長)

コロナにより第2次では目標に達しないものもあったかと思います。しかしコロナが少し落ち着いたので交通利用者も増えていくことを期待して第3次の目標設定をされたと思います。この目標が達成されることが地域の活性化に繋がると思いますので、是非達成していただければと思っております。

(座長)

男女共同参画推進事業で開催しているセミナー等は、参加者はどの層をターゲットにしているのでしょうか。

(事務局)

現状は特にターゲットを設定せずに、構成する各自治体の地域特性に合わせた取組をした中で、終了後のアンケートで設定目標値を目指していくという考えです。

案件(3) 第3次共生ビジョン(案)

(事務局)

※ **資料 3-1**「第3次共生ビジョン(案)概要」及び**資料 3-2**「第3次共生ビジョン(案)」に基づき、共生ビジョンの主な変更点を説明

【質疑・意見等】

(委員)

LGBTQは男女共同参画推進事業の中に念頭としては入っていますか。

(事務局)

そういったものも含めて男女共同参画としているところです。

(座長)

ジェンダーの平等実現を意識されているので、そうした部分も含めて包括的にセミナーを行うのは、広く知識を深めることに繋がる事業かと思います。

(委員)

令和27年までに人口を15.1%増加ということで158,000人を目標としておりますが、人口の将来的な展望としての考え方は具体的に勉強されておりますか。

(事務局)

各自治体ともに人口は減少しております。国立社会保障・人口問題研究所が毎年将来的な人口のデータというものを出しており、人口減少を食い止める、減少

は避けられなくとも減少の幅をいかに抑えるかを意識し、各自治体でまち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略を策定し取組を進めております。

(座長)

医療的ケア児に対するコーディネーターの配置率ですが、実際の数としてはどれくらいになると考えていますか。

(事務局)

ケア児の数は確認できておりません。

(委員)

英語教育推進事業ですが、目標値を具体的な人数ではなくアンケート回答の割合にした理由をお聞きしたいです。

(事務局)

目標値の変更は、研修参加者が増えればいいのではなく、実際に子供たちに教えることができる先生を増やすことで英語教育をより良いものにしていきたいという考えから変更しております。

(委員)

英語教育について理解が深まったというのは、どの程度のことをいうのですか。英語を喋れる程度ですか。

(事務局)

英語を自信をもって教えることができる先生方が80%以上というところを目指すという目標です。

(委員)

最近空港の駐車場が満車なことが多いため、車以外の交通手段を検討する人も増えています。それを踏まえると予備交通である青い森鉄道や路線バスがもう少し利用しやすければ、また違った圏域のあり方も模索できると思います。二次交通など含めた交通体系を圏域全体で再構築まで含めて考えれば、住みやすい圏域になると思うので、力を入れるべきではないでしょうか。

(事務局)

空港の駐車場が満車の状態が多いことは、三沢空港振興会でも対策について議論を進めている最中でございます。また二次交通については、定住自立圏の公共交通ネットワークで議論しております。二次交通の充実を関係市町村、県も含めて会議を詰めていきたいと思っております。

(委員)

現在六ヶ所村に大人数が出入りしていますが、その方々の足はほとんどチャーターバスや自家用車だと思います。例えば一般に利用される路線バスを使う取組など考える余地はあると思います。

(座長)

第3次には新しい事業が増え、地域の活性化という意味であればSDGsの住み続けられる街づくりのような目標に向かって進められていると思います。このビジョンの目標値が達成されると地域の活性化も進むでしょうから、目標値を達成されるよう切に望みます。

(座長)

今回事務局から提示されました第3次共生ビジョン案について、委員の皆様にご検討いただいた内容を本懇談会の意見としたいと思っております。ありがとうございます。

5 その他

(事務局)

本日は様々なご意見いただきまして誠にありがとうございました。

第3次共生ビジョン(案)は、今後、所要の修正を行いながら、最終的に2月16日に開催を予定しております市町村長会議において決定いたします。

なお先ほどご説明いたしました通り、この第3次共生ビジョンの計画期間は、令和5年度から9年度までの5年間となっております。毎年度、取組の進捗やKPIの状況を把握し、必要に応じて内容を修正してまいります。今後も、より良い圏域づくりに努めて参りたいと考えておりますので、引き続きご協力いただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。

それでは、以上をもちまして令和4年度上十三・十和田湖広域定住自立圏共生ビジョン懇談会を終了いたします。本日はありがとうございました。

以上